

第60回 外国人による日本語弁論大会

The 60th International Speech Contest in Japanese

〈主催〉

一般財団法人国際教育振興会／独立行政法人国際交流基金／八戸市

〈後援〉

外務省／文化庁／青森県／青森県教育委員会／八戸市教育委員会／公益財団法人青森県国際交流協会／
八戸国際交流協会／NPO法人みちのく国際日本語教育センター／公益社団法人八戸観光コンベンション協会
／**NHK**／**NHKエデュケーショナル**／日本語教育学会

〈協賛〉

キッコーマン株式会社／株式会社スリーエーネットワーク／専門学校新聞社／
にほんこの凡人社／リコージャパン株式会社／留学生新聞／青い森信用金庫／八戸グランドホテル／株式会社吉田産業

日本語弁論大会60年の歩み

一般財団法人国際教育振興会で毎年開催している事業の一つに外国人による日本語弁論大会があります。この大会は1960年にその第1回を開催、以来、1995年の第36回大会まで国際教育振興会が単独で主催、会場は当時東京・有楽町にありました朝日新聞社講堂で始まり、その後は虎ノ門の国立教育会館（通称、虎ノ門ホール）で開催しておりました。1996年（第37回大会）から国際交流基金と共催にて開催、1998年（第39回大会）から開催都市も含めた3者共催となり、今日に至っております。以下、地方開催からの大会結果をご紹介します。

開催年/開催地	会場	外務大臣賞		文部科学大臣賞	
		演題	受賞者/出身国	演題	受賞者/出身国
1998年 第39回 岐阜市	長良川国際センター	単身赴任で学んだこと	マーク アンダーソン アメリカ	食文化-国際交流への近道	ヤティーン マスタカル インド
1999年 第40回 福岡市	アクロス福岡・福岡シンフォニーホール	違っていてこそは素敵ジャン	ラズモフスカヤ オクサナ ロシア	忘れ得ぬ日	リ テイ 中国
2000年 第41回 長崎市	長崎ブリックホール	みそのみそくさいは上みそにあらず	クニユガ エヴァンス ギタヒ ケニア	垢擦りしないでください	パク ソンヒ 韓国
2001年 第42回 上越市	上越文化会館	心は日本人	ジェイソン ハンコック アメリカ	日本で流した二回の涙	チョ スンヒョン 韓国
2002年 第43回 大阪市	大阪国際交流センター大ホール	国際交流と書いてエンターテインメントと読む	レイモンド タン リーフ マレーシア	日本の高齢社会から学ぶもの	テン シャオシェン 中国
2003年 第44回 札幌市	札幌コンベンションセンター	僕の大好物がまぐるになった理由	ザイナル アクラミン マレーシア	なくそうバリア、ふやそう心のバリアフリー	キム ミョンフン 韓国
2004年 第45回 高知市	高知市文化プラザかるぼーと	さとうきび畑の唄	キム シンエ 韓国	心の故郷	ピシャール パルマ インド
2005年 第46回 米子市	米子コンベンションセンター	縁側から始まる日韓交流	ハ アラン 韓国	一服のお茶から	ジョアン オブライアン アイルランド
2006年 第47回 下関市	下関市市民会館	日本における豊かさとは?	ラリット マヤ マハット ネパール	心のスイッチを押してください	ミン テイル 韓国
2007年 第48回 泉佐野市	泉佐野市立文化会館泉の森ホール	関西弁は第二日本語	キム ヨハン 韓国	僕の生まれたところは	イ ゼフン 韓国
2008年 第49回 川崎市	川崎市市民会館	若者・馬鹿者・よそ者	サミーラ グナワラデナ スリランカ	あなたは「大変」ですか	フェレシテ ナジミ イラン
2009年 第50回 函館市	函館市市民会館	北の国で学んだ三つのこと	ドミニク バゲンダ カスツジャ ウガンダ	調べてガッテン日本語の「はい」	シャボヴァーロヴァ スヴェトラナ ロシア
2010年 第51回 新潟市	新潟市民芸術文化会館りゅーとびあ	ソコ、読まな!	ヨウ ロ 中国	私の韓国語奮闘記	キム ギョンヒ 韓国
2011年 第52回 町田市	桜美林大学ホール (つくば市開催予定が震災のため変更)	私は「脅威の国」から来た娘?	リメイギョク 中国	私の異文化体験-愛の伝え方	タウン ラ ミャンマー
2012年 第53回 別府市	別府市ピーコンプラザシンフォニーホール	日本の田舎に学んだもの	山崎ランサムどりあ アメリカ	日本人の若者の「やばい」言葉遣い	チャンピソンミッド バカム ラオス
2013年 第54回 北九州市	北九州芸術劇場大ホール	気になる「気」	ワアハド ナザレインビンワ マレーシア	ホームレスに学んだ日本人の精神	レイラ ミユキ アンラク ブラジル
2014年 第55回 松江市	松江市総合文化センター「プラハホール」	育館時代の幕開け	カ ギョウオン 中国	働かせてもら意識	ジョン サンジン 韓国
2015年 第56回 東近江市	東近江市立八日市文化芸術会館	心の種、私の言の葉	ジャレル ジョイスサーミント カヒグ フィリピン	どうすれば忘れないのか	アンドレ ベレズ アメリカ
2016年 第57回 高山市	高山市民文化会館	若い心に、でっかい夢を	フローリス デ・グラーフ オランダ	日本人になるのは、可能か	エリーザ フランチーニ イタリア
2017年 第58回 つくば市	つくば市立ノバホール	考えさせてください	ホウ エイ 中国	おもてなして?	チャウ エン イ アイリニ マレーシア
2018年 第59回 吉崎市	吉崎の島ホール	船は風に流される	ハラ・ハティープ シリア	完璧な私って無理?	カテリーナ ノヴィツカ ウクライナ

例年、約100名前後の応募者の中から、予選審査で決勝大会出場者を選出しておりますが、年々応募者の日本語能力が向上し日本語が母語ではないか、と思わせるほどの話し方をする出場者が増えております。外国人の日本語習得の高さをますます実感いたします。

2019 The 60th International Speech Contest in Japanese

聞いてください、私たちが見た日本、感じた世界。

第60回 外国人による日本語弁論大会

八戸市市制施行90周年記念



— 実施要領 —

応募
お待ちして
います!

応募受付期間 2019年2月1日(金)~4月16日(火)

開催日時 2019年6月1日(土) 午後1時開始

開催場所 青森県 八戸市公会堂



国宝 合掌土偶
是川縄文館蔵

〈主催〉

開催の趣旨

急速にグローバル化が進む現在、私たちが住む地球の豊かな発展には、国籍や文化の違いを越え、建設的な意見交換を行いながら、より一層の相互理解を深めることが大切です。

日本の社会や文化に日頃から深く接している世界各国および地域の人々に、日本語でスピーチをする機会を提供することは、それを聞くすべての人に対して、そして発表する本人に対しても、新たな視点を与えてくれる好機です。違いを知り、違いを楽しむことこそ、人類の平和共存・発展へ繋がるという思いから、1960年より毎年「外国人による日本語弁論大会」を開催、1998年(第39回大会)からは毎年、各都市で開催、2019年は青森県八戸市で開催いたします。

実施要領

1. 日時および開催場所

2019年6月1日(土)午後1時開始

八戸市公会堂

〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1

Tel. 0178-44-7171

http://www.hachi-kokaido.com

2. 演題および制限時間

○演題は自由、但し伝道、宣伝に類するものは不可で未発表作品に限る

○制限時間は6分以内、時間超過は減点の対象となる

○過度な演出、演技および小道具の使用は禁止

3. 出場資格

次①～③の条件を同時に満たす方

①母語が日本語以外であること

②本大会(本選)当日の年齢が満15歳以上であること

③過去のこの大会で外務大臣賞または文部科学大臣賞を受賞していないこと

4. 審査基準

①主題の良否(聴衆の興味と関心と呼ぶ時宜を得た主題であり、これを論ずることに意義が認められるか)
②事例の適切さ(取り上げられる事例は主題を説明する上で十分かつ適切なものであるかどうか)

③内容の構成(独自の見方、考え方が適切に表現され、主題が論理的かつ効果的に整然と展開されているか)

④語句の使い方(主題、内容にふさわしい語句を選んでいるか、その発音、抑揚、文法は適切か)

⑤話し方(表情、動作などが自然で、好感が持て、かつ説得力があるか)

以上の5項目を中心に審査員5名で審査を行います。

※但し、予選審査の段階で日本語の能力、運用技術だけでなく、日本語の学習歴、学習環境、個人の資質および大会の開催趣旨である国際理解への社会的効果を参考として審査の対象とする場合があります。

5. 出場者決定

スピーチ原稿およびスピーチの録画映像を4. の審査基準の①～④に基づき予選審査を国際教育振興会内で行い本選出場者10～12名を決定します。その結果は**2019年5月上旬**に直接、応募者に通知します。

6. 応募方法および応募締切

応募期間：2019年2月1日(金)～4月16日(火)
①所定の申込用紙に記入(用紙は国際教育振興会のホームページからプリントアウトしてください)

www.iec-nichibei.or.jp/pdf/speechcontest60.resist.pdf
※入手が難しい方は大会事務局までご連絡ください。

②スピーチを録画したメディアまたはデータ

㊦日本語で氏名および演題を言ってから、スピーチを始める。

①スピーチは**6分以内**に必ず終える。

㊧1スピーチにつき1枚(個)の記録メディアまたはファイルに記録する。

①収録は、正面からスピーチをしている顔が映るようにする。

㊦PC/スマホのカメラやビデオカメラなどを利用して、録画し、データファイルは、DVD-Rまたは、SDカード、USBメモリなどの記録メディアに記録し、郵送するかデータをメール添付やファイル転送システム(ギガファイル便、ファイルポストなど)を利用して送付。コピープロテクトはしない。

㊦録画環境が身近に無い方は、音声のみを録音したもので構わない。
※再生時の不具合などあった場合、再送などをお願いすることがあります。オリジナル映像/音声は必ず応募者各自で保管する。

③スピーチの原稿(A4サイズの用紙に出力または手書きしたもの)またはWORD/PDFデータ

④顔写真1枚(3cm×4cmで顔がはっきりと写っているもの)、申込書に貼る
上記の1～4をまとめて応募書類送付先まで郵送またはメールに添付して提出を願います。(応募書類などは返却いたしません)。

応募書類送付先

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-50
または、benron@iec-nichibei.or.jp
国際教育振興会
「外国人による日本語弁論大会」係宛て

応募締切日 2019年4月16日(火)までに
届くように送付のこと。

注記：一人で複数のスピーチの応募はできません。また応募したスピーチの内容を本選で変えることはできませんのでご注意ください。(不適切な用語または事実誤認など、若干の訂正は認めますが、その場合は国際教育振興会弁論大会事務局まで連絡をして下さい)

7. 本大会表彰(予定)

◆外務大臣賞……………賞状・賞杯

◆文部科学大臣賞………賞状・賞杯

◆主催団体賞……………賞状・賞杯

◆会場審査員賞……………賞状・楯
(当日来場者の投票で最多得票を獲得したもの)
その他、副賞および参加賞(主催・協賛団体提供)

8. その他

①交通費に関して
本選への出場者は大会前日の夕方、開催地集合となります。日本国内居住先から八戸市宿泊施設までの交通費は主催者が往復負担いたします。但し原則として公共交通機関のみで、タクシー代は個人負担とします。

②宿泊に関して
本選への出場者には主催団体が宿泊(5月31日(金)～6月2日(日)までの2泊)を手配します。費用は主催団体の負担とします。

③著作権に関して
スピーチの著作権はすべて一般財団法人国際教育振興会に帰属します。
但しNHKが放送用に録音・録画した制作物の著作権および編集権はNHKに帰属します。

注記：なお、出場者全員のスピーチが放送されるとは限りません。またスピーチが編集される場合もありますので予めご了承下さい。

④広報での使用に関して
本選の出場者の氏名、国籍、所属(学校名、勤務先など)、写真などは大会のプログラム、宣伝用のチラシ、主催者・後援団体のWEBサイトを通じて事前に公表いたします。

本選出場者全員のスピーチ映像を主催団体のWEBサイトにて大会終了後、公開しますので、ご了承下さい。

⑤個人情報取り扱いについて
応募者ならびに出場者の方々の個人情報は「外国人による日本語弁論大会」の実施目的のために使用します。主催者、後援協賛団体以外の第三者に許可なしに個人情報を渡すことはありません。

【大会に関する問い合わせ先】
一般財団法人国際教育振興会
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-50
電話 03-3359-9620 FAX 03-3353-8908
ホームページアドレス: http://www.iec-nichibei.or.jp
E-mail: benron@iec-nichibei.or.jp
月～金曜日 9:00～17:00